

記念館新聞



福岡町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204
神崎郡福岡町西田原
1038 の 12
電話：0790-22-1000

井上通泰生誕 150 年



井上家と通泰

井上通泰は、松岡操と
たけの 3 男として誕生
し、12 歳のとき、井上家
に養子へ入りました。
養父となった井上碩平
は、操のいとこであり、
川辺村（現市川町西川辺）
の、医師中川家の出身で
した。
碩平は、通泰を養子に
迎えた当時、姫路病院の
内科部長をつとめていま
した。子どもに恵まれな
かったことから、通泰と
妹の子どもであるマサを
養子に迎えました。

養子であった 2 人は、
通泰が帝国大学医科大
学を卒業後、結婚しまし
た。

しかし、結婚の翌年、
明治 25 年（1892）に、マサ
が出産のために、郷里の
田原村吉田（現福岡町南
田原）に帰ったところ、
赤痢にかかって急逝し
ました。

その後、通泰は岡山で
眼科教授をつとめまし
た。そのときに、操とた
け、碩平が亡くなりまし
た。
相次いで身近な家族
を見送った通泰でした
が、研究意欲を失うこと
はありませんでした。
岡山からふたたび東
京に戻った通泰は眼科
医院を開業し、さらに和
歌をはじめとする研究
に力を注いでいくこと
になりました。

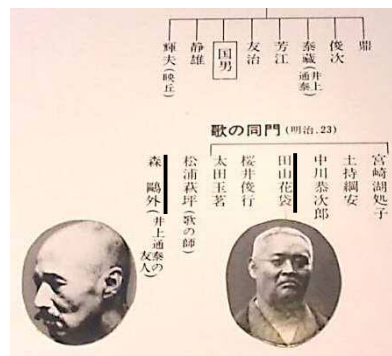
展示パネル紹介 ～柳田國男の人物交流～

このたび記念館では、1 階の一
部を展示替えしました。

さて、下の写真のパネルをご覧
になったことはありますか。パネ
ルをじっくりみると、國男が明治
の文豪 森鷗外、田山花袋などの
人物と交流があったことがわかり
ます。

國男と森鷗外との交流につい
ては、左記の「故郷七十年を読む」
で紹介しています。

パネルは、1 階図書室に展示し
ていますので、ぜひご覧ください。



展示パネル「柳田國男とその人脈」
（部分拡大）

名著書紹介

故郷七十年を 読む



『故郷七十年』には、
國男と森鷗外が交流する
ようになったきっかけ
は、井上通泰の紹介であ
ったと記されています。
國男は東京の高等学校

へ通っていたとき、鷗外
の家をよく訪ねており、
鷗外が「いまは何を讀
んでいる、どんなものか
面白くない」と聞いて、
愛がわいてくれたとあり
ます。
そして、本を一冊読む
のにも、國男の立場にた
って本を探して来てくれ
る鷗外について、國男は
「大きな影響を与えた人
であった」と記していま
す。

入館無料

企画展

柳田國男の『妖怪談義』 ～妖怪なぞとき話～

会 期 3月5日(土)～31日(木)
開館時間 9:00～16:30
会 場 柳田國男・松岡家記念館



平成 27 年度文化庁文化芸術
振興費補助金
（文化遺産を活かした地域
活性化事業）

文化協会からのお知らせ

福岡町内

秋季例大祭映像記録を

上映します

今年度 30 周年を迎え
た福岡町文化協会では、
記念事業の一環として、
福岡町内の秋季例大祭
（秋祭り）を映像として
記録しました。本宮のよ
うだけでなく、町内各
地区での準備のようすや
太鼓等の練習風景、宵宮
の特徴的な行事もあわせ
て記録しています。
次のとおり、4 会場で
上映会を開催しますの
で、ぜひお越しください。

日時 2月14日(日)

10時～16時

会場

※時間内は随時上映

① 柳田國男記念館

② もちむぎのやかた

③ 八千種研修センター

④ 図書館

問い合わせ先

文化協会事務局

（文化センター内）

☎ 22・3755